



井戸端ばなし・・・

東北地方太平洋沖地震による被害を受けられた皆様には、謹んでお見舞い申し上げますと共に、被災地の一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

3月11日の地震の時何処に居られましたか？私は14時半頃事務所に戻ってきてPCをつけ座っていると、なんだか目が回るような感じになり窓を見ると、ブラインドのひもが揺れていたので地震だと思いネットに繋いでみると東北地方で強い地震ありと見たと同時に揺れが激しくなり停電、東北の地震にしては揺れが大きかったので想定東海地震かなと？とりあえず机の下に潜り込み、携帯で家へ電話したがすでにこの時点で通話規制がかかり通じない、机の引き出しが揺れにあわせて出たり入ったり、外では悲鳴が、窓から外をのぞくと斜向かいの会社の従業員が建物から飛び出してきてうずくまっており、駐車場に止めてあった車が今にも道に飛び出さんばかりに前後に揺れていました、揺れが収まるのを待って事務所内外を確認、携帯電話は通話規制ビジネスフォンは依然停電中だったので通じず、ノートPCをPocket WiFiで接続、三陸沖でM8.4甲府で震度5弱、中央市成島で震度5強、1944年12月7日「東南海地震」M7.9甲府で震度5以来66年ぶりに震度5を観測した。今回の地震は震源地から離れていたせいか起震車で体験した揺れと違い船に乗っているような揺れでしたね。車に行きTVをつけると東北太平洋沿岸に大津波警報の字幕、お台場方向に煙が上がっている映像を見ていたら余震の揺れで車の中にいると酔ってしまいそうで事務所へ戻ったが依然停電中、家に帰ると（甲斐市では停電もなく震度4だったせいか）みんないたって冷静にTVに映し出される鮮烈な映像に釘付け、去年の夏に久慈から気仙沼まで海岸線を見てきたばかり、行っている時に起きていたらと思いながら、次から次へと入ってくる津波の映像に恐ろしさを感じていました。下の写真は去年夏宮古市田老のホテルから撮った、田老湾と赤い矢印のところ津波太郎という2階屋よりも高い高さ10メートル総延長2.5キロにも及ぶ防波堤、これ乗り越えた津波が写っている家をすべて押し流していきましました。この巨大な防波堤も壊れたと聞きました。



山梨のダム

山梨県には、今6つのダムがあります。ロックフィルダムである荒川ダム（甲府市川窪町）、広瀬ダム（山梨市三富）。重力式コンクリートダムの塩川ダム（北杜市須玉町）、大門ダム（北杜市高根町）、琴川ダム（山梨市牧丘町）、深城ダム（大月市七保町）以上の6つになります。今回から一ヶ所ずつ紹介してみたいと思います。

まずは初回ですので、上記の二種類のダムの説明から・・・。

- ◎ロックフィルダムとは、岩石等を積み上げて作ったもので、ダムの中心に遮水ゾーンのコアを持つものと、上流側のダム表面に、コンクリートやアスファルトで遮水するものがあります。
- ◎重力式コンクリートダムとは、ダム自体の重さによってダム湖の水圧を支えている、コンクリートで出来ていますが、ダム自体を支える強固な基礎岩盤が必要になります。

荒川ダム

甲府市川窪町浦の山 972 TEL 055-287-2005

荒川は、河川の勾配が急峻のため、多くの水害が発生しました。（M43年の大水害、近くは、S34年伊勢湾台風、S41年台風26号等）しかし、荒川下流の河川改修工事は継続して行ってきたものの、安全性が低く、集中豪雨に見舞われると大災害を被る恐れがあり、二次改修の必要に迫られました。しかしこの河川は、市街地を貫流しているため、用地取得の困難と莫大な工費などを考えると、ダムによる洪水防御が最も経済的と考えられ、荒川ダムを建設する事となりました。そして産業経済と生活文化の向上と共に上水道用の需要も急激に増加した為、県は「荒川総合開発事業」として多目的ダムを建設し、洪水調整に合わせて、甲府市に上水道用水を供給しています。

昭和44年4月県単費にて予備調査を開始し、昭和54年仮排水路から始まる工事を着工、17年の年月をかけ、昭和61年3月完成しました。



総貯水量（堆砂容量を含み、ダムに貯める事ができる水量）10,800,000m³、
有効貯水量（堆砂容量を含まない水量）8,600,000m³
堤高—88.00m 堤頂長—320m 堤頂幅—10m
総事業費—356億円
施工—鹿島建設・間組
ダム湖（人造湖）名称—能泉湖



荒川ダム管理事務所のホームページから写真を引用させていただきました。

災害から守ってくれるだけでなく、生活の水の供給という大きな役割を担っているダムですが、それぞれの季節に趣があり、こうして私達の目も楽しませてくれています。

震災から3週間が経って

今、日本全体が東日本大震災という大きな災害の中で、経済も人の心も大きく沈み込んでいます。被災地の方の気持ちを考えると、自分たちばかり楽しんだり贅沢をしたりしてはいけません。普通に買い物をする事さえなんだか申し訳ないような気さえしてしまいます。もちろん贅沢はあまり感心しませんが、季節が運んでくれる風景を楽しみ感動する心や、又そこでささやかにでも消費をする事も、小さな事ではありますが、日本が前向きに進む為に必要な事の一つである様な気がします。これから沢山の野菜や果物などが、農家の方の手によって生まれてきます。噂や、影響があるかないかの数値などに惑わされずに、太陽と大地の恵みを美味しく頂きましょう。日本全体で心が沈没してしまっただけではいけないのではないかと思います。経済を衰退させてしまっただけではいけないと思います。これからの復興の為にも・・・。

松山千春さんがとても良い事を言っていましたね、「知恵がある奴は知恵を出せ、お金がある奴は金を出せ、なにもない奴は元気を出せ！」でしたよね？確かに・・・！思わずうなずいてしまいました。

桜もいよいよ咲き始めました。一年に一度のこの季節、今年もきれいに咲いてくれています。お休みの日ちょっと見に行きませんか？ (すべて昨年以前の写真です。)



富士川町 **大法師公園**

さくら祭りは、震災による電力事情を考慮ライトアップは取りやめになりました。そのため例年はPM9時までの開催時間が、PM6時に短縮されます。

わ
期間は、開花状況により4月10日まで延長されます。
元気



北杜市 **実相寺**

実相寺には樹齢2,000年、日本最古とも言

れる山高神代桜があります。今年もきっと

に気高く美しい花を咲かせる事でしょう。



山梨市 **清白寺**

仏殿は国宝、庫裏は重要文化財である清白寺梅の花の素晴らしさは特に有名です。



甲府市 **小瀬公園**

桜のトンネルの下を散歩する人、お花見宴会をするグループ、楽しみ方はいろいろですが、桜はやっぱり優しく美しい。広い公園は駐車場まで桜がいっぱいです。

前号で、甲府では震度 5 以上の大きな地震がここ 6 6 年間観測されていませんと言ったばかりでしたが、3 月 11 日に三陸沖を震源とする M 9.0 の巨大地震が起き東北地方に未曾有の被害が出てしまいました。地震その物の被害をも忘れさせてしまうような大津波により、沢山の人命が失われ、また今まで見たことのない津波の映像が次々と映し出され、自然の力の巨大さになすすべもなく破壊されていく町並み流される車、建物の 2 階・3 階の窓に突き刺さっている車、陸に打ち上げられた船など衝撃的映像を見ました。前に津波警報が出されても避難しない人が多いと書いたことがありますが、今まで津波警報が出てもたいした被害もなく、10 m の防潮堤を作った所などは安心していただけです。昔被害あった所でも、被災後の写真はあるが津波自体の映像はなく、昔 15 m 20 m の津波がきたという言い伝えでしかなかった。大津波の被害・原発事故の陰に隠れていますが、



等の被害も甚大です。浦安市は液状化の被害が市の 75 %にも及びマンホールが 2 m 浮き上がるなど上下水道・ガスなどの完全普及には何年かかるかわからないそうです、左の写真は浦安市です・3 月 12 日の長野県北部地震の被害・3 月 15 日の静岡県東部の地震の被害などあまり報道されていませんよね。今回の地震や余震で地震酔いになった人が沢山いると言います、車や船酔いと同じだと言われ、地震でもないのに揺れているような感じがするそうです。TV で津波の衝撃的映像等を繰り返し見て PTSD に陥っている人が増えているそうですし、TV 局内でも編集作業に携わっている人の中にはあまりの悲惨さに PTSD に陥って

いる人がいるそうです、投稿された映像には編集しないと放送できない映像が多いそうですし、救助に当たっている自衛隊員も光景が目には浮かび眠れなくなっている人もいます。災害は忘れた頃にやってくると言います、スマトラ沖では 2004 年から 2010 年の間に M 9 から M 7.5 の地震が 5 回起こっています。ここ山梨は津波による被害は起こりませんが、想定東海地震はいつ起きても不思議でない時期になっていますし、富士山が噴火するも知れません。Google Earth には、すでに被災地の画像が震災後の画像に変わっています。

災害に備え避難場所の確認・家族の連絡方法等話しておき、最低 3 日分の水と食料は各家庭で用意しておきましょう。緊急地震速報等が出たら安全な所へ避難、地震が治ったら周りの人に一言かけて安否確認して下さい。巨大地震の後には大きな余震も考えられます、余震で倒壊する物等がありますので十分注意して安全な場所へ避難して下さい。

井戸端ばなし・・・バックナンバーは <http://sakusenyamanashi.sakusen.co.jp/>
ホームページアドレス上記に変わりましたのでよろしく



地質調査・さく井工事・水中ポンプ設置点検
株式会社 **サクセン山梨**
本社：〒400-0056 山梨県甲府市堀之内町 818-2 TEL.(055)242-0415 FAX.(055)241-6615
機材センター：〒400-0078 山梨県笛吹市一宮町中 1180

E-Mail sakusenyamanashi@sakusen.co.jp

